



かんら

議会だより

群馬県甘楽町議会
令和元年10月15日
179号



運動会 バルーンリリース 小幡小学校
※表紙の説明は16ページをご覧ください



福島小学校



新屋小学校

インターネットからも
閲覧できます!



令和元年9月定例会

提出議案・議員発議……………2～3	全員協議会報告……………14
3議案について討論……………4～5	再提言書に対する今後の方針②……………15
7人の議員が一般質問……………6～12	かんらの四季を彩る風景、編集後記……………16
議員活動報告……………13	

第3回定例会(9月)

第3回定例会を9月9日(月)～13日(金)までの5日間開催しました。
町長から提出された同意2件、諮問1件、議案31件について審議・採決した結果、すべて原案のとおり可決しました。
また、最終日には、議員発議による議会規則の改正を承認しました。一般質問では7名の議員が13問の質問を行いました。

町長提出議案

◆令和元年度補正予算 6件

○一般会計(第2号)

○国民健康保険事業

特別会計(第1号)

○介護保険事業

特別会計(第1号)

○農業集落排水事業

特別会計(第1号)

○公共下水道事業

特別会計(第1号)

○水道事業会計(第1号)

◆同意 2件

○教育長の任命 1名

近藤 秀夫 氏(福島)

○固定資産評価審査委員会

委員の選任 1名

友松 義和 氏(福島)

◆諮問 1件

○人権擁護委員の推薦 1名

◆表彰関係 6件

○有功者の選定 6名

◆平成30年度決算認定 7件

○一般会計歳入歳出決算

○国民健康保険事業

特別会計歳入歳出決算

○介護保険事業

特別会計歳入歳出決算

○農業集落排水事業

特別会計歳入歳出決算

○公共下水道事業

特別会計歳入歳出決算

○後期高齢者医療

特別会計歳入歳出決算

○水道事業会計歳入歳出決算

◆協議 4件

○群馬県市町村

総合事務組合の規約変更

○富岡甘楽広域市町村圏

振興整備組合の規約変更

○富岡甘楽衛生施設組合の解散

富岡甘楽衛生施設組合の解散に伴う財産処分

◆条例の一部改正 6件

○町職員の給与に関する条例

○町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

○消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例

○税条例

○印鑑条例

○子ども他のための教育・保育給付に関する利用者負担額に関する条例

◆道路線の廃止
○廃止 2路線

◆道路線の認定
○認定 7路線

議員発議 1件

◆規則の一部改正
○町議会会議規則

令和元年 甘楽町議会

7月18日 第2回臨時会

町長提出議案

◆工事請負契約の締結1件
○社会資本整備総合交付金事業織田氏七代の墓御霊屋修景施設整備工事

8月20日 第3回臨時会

町長提出議案

◆工事請負契約の締結1件
○甘楽ふるさと館浴室建築工事

認定された平成30年度決算の状況

(単位：万円)

会計別	歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引額 (平成30年度)	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度		
一般会計	51億7,567	53億1,102	49億4,510	50億6,630	2億3,057	
国民健康保険事業特別会計	15億9,392	17億6,678	15億642	16億9,280	8,750	
介護保険事業特別会計	11億5,291	11億1,485	11億3,382	10億9,697	1,910	
農業集落排水事業特別会計	1億6,894	1億5,200	1億6,844	1億5,150	50	
公共下水道事業特別会計	4億8,819	4億8,235	4億8,769	4億8,180	50	
後期高齢者医療特別会計	1億4,008	1億3,013	1億3,998	1億2,999	10	
水道事業	収入		支出			
		平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	
	収益的収支	2億4,746	2億4,985	2億2,315	2億2,230	
	資本的収支	246	278	1億2,259	1億2,149	

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金並びに当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。

議員の賛否がわかれた審議議案

議案名	議員名												議決結果
	山田光男	堀口博	白石豊樹	吉田恭介	横尾稔	相川忠夫	金田倍視	黒澤篤	中野喜久勇	富岡朝男	山崎澄子	山田邦彦	
議案第40号 令和元年度一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第52号 平成30年度一般会計 歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第53号 平成30年度国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第54号 平成30年度介護保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第57号 平成30年度後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第65号 消費税率及び地方消費税率の 改定に伴う関係条例の整理に 関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可

※「○」は賛成。「×」は反対。「欠」は欠席。議長は通常採決に加わらないため「—」で表示。

※上記以外の議案については、すべて全会一致で承認されました。

討 論

議案第52号

一般会計決算認定

反対

山田邦彦 議員

賛成

相川忠夫 議員

本決算の不用額は約2億円で、もっと工夫できるはずです。町長は『子どもは町の宝』と言います。旧福祉センターを改装し、子育て支援のためのサービスタワー開始などは大変喜ばしいと思います。●県内25自治体で行っている、給食費の減額・免除●食育で注目され、PTAも推進している、「お弁当の日」の導入●出産直後から母親が悩み「産後うつ」などを回避するための手立てとなる、育児中の0歳児、1歳児保育の実施●「イクメン」を育てる効果が高い「イクボス」制度の開始。などが出来ていません。

また、●住宅・商店リフォーム助成制度●社会教育団体制度の導入●消防団員の報酬増額●ゴミ袋のさらなる値下げ●LGBT条例の制定●かぶらウォーターランドの跡地利用のためのアンケート実施●「254バイパスに道の駅の設置」など、手のついていないものが多々あります。もっと住民の「声」を実現するためにお金を使いうことは十分可能ですが、行っていません。

歳入決算額は51億7,567万3千円（歳入率100・2%）で、予算を越える歳入を確保しています。特に、歳入の根幹である町税が増額したことは、適正な課税に努めた成果であり、滞納処分にも相応な努力をした結果、徴収率の大幅アップにつながったことは、財源確保のための努力が認められます。

町債では、借入額を返済額より低く抑えるように対象事業を厳選し、町債残高は前年度末より8千万円ほど減少しています。

貯金にあたる基金残高も前年度末より5千万円ほど増えていることから、将来を見据えて健全財政を維持するよう配慮がみられます。

また、歳出決算額は49億4,509万8千円（執行率95・7%）で、経費削減に努め、適切な予算執行をした結果です。

第5次総合計画や地方創生総合戦略に沿った事業を実施するとともに、各分野の諸施策においてバランスの取れた事業の推進が図られ、有効適切な予算執行により行政目的が達せられたと考えられます。

議案第53号

国民健康保険事業特別会計決算認定

反対

山田邦彦 議員

賛成

金田倍視 議員

国民健康保険は、言うまでもなく社会保障制度の大きな役割を担っています。その性質上低所得の人たちの割合が多くなっています。日本の医療保険は「皆保険」なので、いつでも、だれでも、どこでも。サービスタワーが受けられるので大変良い制度です。

甘楽町の一人当たりの医療費は、県内でも安い、使わない方から5〜6番目に推移しています。これは、住民の皆さんの健康への意識が高く、関係職員や、役員の皆さんの努力が実を結んでいることだと思えます。一方、保険税が大変高く設定されています。「協会けんぽ」から見ると、約2倍になっています。

全国知事会からは、国の負担分を今よりも1兆円多くするように要望が出ています。町村会でも、甘楽町議会でも国の負担をもっと大きくするように意見書を提出しました。そんな中、甘楽町の「国保税」は、西毛地区で一番高く、県内の市町村でもトップクラスとなっています。

誰もが、「負担とサービスタワーのバランスをとるべき」と考えられると思います。私はもっと住民負担を減らすべきと思いますが、そうなりませんので反対です。

平成30年度には国保制度改革が行われ、都道府県が市町村とともに国保運営を担い、財政運営の責任主体として中心的な役割を担うことにより国保制度の安定化を図ることとされ、大きな変革の時期を迎えました。

平成30年度の決算状況は、歳入総額15億9,392万6千円で、歳出総額は15億6,414千円となっており、歳入歳出差引額は8,751万2千円の黒字です。

歳入の主なものには保険給付費交付金を主とする県支出金で、歳入全体の63・9%を占め、これにより保険給付費が支払われています。

また、被保険者からの国保税と保険基盤安定繰入金等を、国保事業納付金として財政運営主体の県へ納付しており、いずれも適正な予算執行が行われております。

今後も県と連携して安定した制度運営に取り組むとともに、保険事業の推進による医療費の適正化、保険税収納率の向上による歳入の確保に努められ、一層の経営努力を重ねることを要望します。

討 論

議案第54号

介護保険事業特別会計決算認定

反対

山田邦彦 議員

介護保険のお世話になる人は、約14%。ほとんどの人がお世話にならず一生を終わることが、このかん改めて明らかになっていきます。それなのに保険料は、「●生活保護受給者の方●世帯全員が住民税非課税の方●合計所得金額の合計が80万円以下の方」(第1段階)の人たちまで取られています。理解できません。

政府は消費税を社会保障のために使うといいますが、医療、福祉、年金、介護などどれも後退しています。前回の増税した時、「増税した3%分は、すべて社会保障に使うと言ったのに、内閣官房長が出したデータによると2017年度増税分は8.16兆円。このうち社会保障に使ったのはたった16%でした。

大企業には、輸出戻し税で、納めてもいない消費税が戻り、株など有価証券を持っている富裕層には、税が軽減されています。大企業・富裕層への優遇はやめて、能力に応じて課税するべきです。

そうすれば、今まで一生懸命に町のために働いてきていただいた

高齢者に対し、大きな負担をさせずに済みます。

もし、国が有効な対策をとらないのであれば、身近な自治体がキッチリ援護策を作り、行うべきだと思いますが、そうになっていまいので賛成できません。

賛成

吉田恭介 議員

本事業決算の歳入総額は11億5,291万9千円、歳出総額は11億3,381万6千円で、差引額は1,910万3千円の黒字決算となっておりますが、急速な高齢化で要介護認定者等の増加や介護サービス利用も年々増加する中、今後も厳しい財政運営が続くものと思われまます。

一方、介護保険事業では、介護予防事業の拡充や「にこにこサロン」などの新規事業にも取り組まれました。町内高齢者においても、介護予防への意識が高く、行政区単位の居場所「おたつしや会」は、22か所で活動しています。

さらに、第1号被保険者に占める要介護認定率は13.8%で、県内でも低い水準を保っています。今後も認知症高齢者の増加が予

想される中、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる「地域包括ケアシステム」の確立に向け、相談体制や介護サービスを充実させ、適正な介護給付の執行に努めることを要望します。



次回の定例会は12月です(予定)

12月6日(金)～13日(金)

<一般質問は、13日(金)の予定です>

本会議の会議録は、町ホームページの「甘楽町議会」でご覧になれます

<http://www.town.kanra.lg.jp>

議会を傍聴しませんか?

9月定例会の傍聴者は21人でした。皆さんも、ぜひ傍聴にお越しください。詳しくは議会事務局(☎74-3131 内線310)までお問合せください。

ここが聞きたい!
町政を問う

「一般質問」

「一般質問」とは、議員が、町長をはじめとする執行機関に対して行う質問のことで、内容は行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりします。内容を要約して通告順（発言順）に掲載します。

7人の議員が発言

- ①子育て支援に関して、町内の地域にある遊び場と遊具の充実の現状
- ②スマホの学習の悪影響防止・改善に対する取り組みについて
白石 豊樹 議員
- ③町内の公立幼稚園耐震化及び小学校校舎内の内装について
- ④天引地区内（堂の入）国有林の伐採について
- ⑤これから予測される水不足について
堀口 博 議員
- ⑥地区防災心得の作成および防災士について
黒澤 篤 議員
- ⑦ふるさと納税の活用について
- ⑧フィルムコミッション事業について
横尾 稔 議員
- ⑨災害時の避難所運営について
- ⑩自動車がなくとも快適な生活を他
- ⑪平和行政・平和教育の一層の推進を
山田 邦彦 議員
- ⑫小学校のプールについて
中野喜久勇 議員
- ⑬秋畑、那須簡水の有収率に関して
山崎 澄子 議員



子育て支援に関して、
町内の地域にある遊び場と
遊具の充実の現状

白石 豊樹 議員

■議員 少子化対策の中

で「近所の遊び場の遊具が使えなくなっており、他に近くに遊び場がなく、遠くまで車で遊びに連れていくしかないが、何とかならないか」との声を聴きました。そこで、以下の2点について質問します。

①町内には、どこにどんな公園、遊び場があり、遊具がどのくらいあるのか。また、そのような情報を町民に知らせる方法（マップなど）があるのか。
②甘楽プランの実行的ために、今後、町は町管理、地域管理などの地域にある遊び場や遊具等に対してどうしていくつもりなのか。

■町長 ①町管理で遊

具等がある公園は6か所（総合公園、ふれあいの丘、琴平山運動公園、庭谷住宅団地、浅間堤公園、神明山公園）で、遊具等の種類・数量を把握しています。地域管理の公園は、多くが住民センターや神社境内等にあるもので、10か所29基が確認できました。

公園マップはなく、新たなマップの作成の予定はありません。

②町管理の遊具等は引き続き保守点検を行い、使用判定や不具合箇所の把握に努め、必要に応じて修繕・更新



スマホ学習の悪影響防止・改善に対する 取り組みについて

白石 豊樹 議員

■議員 仙台市教育委員会では、スマホが子供の学習に及ぼす影響について東北大学と共同研究し、その悪影響について「スマホの使用時間が増えると成績が下がる。」「2時間以上勉強する子が4時間以上スマホをすると、30分以下の学習時間の子より成績が悪い。」としています。

そこで、以下について町全体で取り組むことについてお聞きします。

①どれくらいの子がスマホを持ち、何時間使っているか。

②町全体でスマホ使用制限についてどのような取り組みか。

■教育長 ①小学生596名、中学生330名への調査では、スマホ所持者④92名、④140名。家庭のスマホ使用者④317名、④101名。1日平均使用時間は、1時間未満④272名、④120名。1～2時間④93名、④68名。2～3時間④35名、④26名。3～4時間④5名、④15名。4時間以上④4名、④12名でした。

②スマホ使用時間の制限等の啓発や、スマホの正しい利用方法やトラブル対応、フィルタリングの啓発、スマホ使用のル



ール作りについて家庭・地域・学校で連携し、指導充実を図ります。

■議員 8月10日上毛新聞の記事に県内小中学校の耐震化率が19年度中に100%になる見通しとなりました。その一方で未対応の公立幼稚園4棟の中に甘楽町の幼稚園が入っており、20年度中に工事が終わるとありました。又、この件とは別ですが、7月初旬に新屋小学校に伺ったところ、校舎内の廊下の壁に老朽化と思われる剥がれを確認しました。校舎も築33年余りになり、ここ数年夏場の猛暑が原因と思われる。また、子供たちへの健康にも影響が考えられます。そこで質問します。①幼稚園の未対応の今後の予定は。②校舎内の点検についてはどうか。



町内の公立幼稚園耐震化及び 小学校校舎内の内装について

堀口 博 議員

■教育長 ①新聞報道は福島幼稚園舎のことです。町内幼稚園が統合した場合に現園舎使用が終了するという意味合いでした。新園は今後、関係者から意見を伺い方向性を決定しますので、福島幼稚園の保護者の皆さんには、園舎耐震について説明し、統合までの現園舎使用について、ご説明しました。

②月1回校舎内の安全点検及び隔年で法定点検を行い、危険箇所等があった場合は、速やかに修繕を実施していきます。

また、昨年度策定した学校施設等個別施設計画により、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図っていきます。



天引地区内(堂の入)国有林の伐採について

堀口 博 議員

■議員 天引地区内の国有林の伐採が二年ほど前から始まり現在も行われています。広範囲にわたり山肌が剥き出し状態となっており、これから台風シーズンを迎え、下方には大きな砂防堰堤(上水道用)もあり、地元では相当な被害が予測されます。

■町長 ①当該国有林は関東森林管理局群馬森林管理署が所管しています。現在実施している伐採事業は、平成30年度から令和2年度までの事業で、樹齢51年の杉を販売目的に伐採・搬出しています。

だす浚せつが必要か等の確認を依頼します。
④町の管理ですので、道路補修は職員により早急に現状確認の上、必要に応じた措置を講じたいと考えています。

②令和3年度以降に国が植林を行い、造林・保育予定ですので、

③県で管理する施設です。下流への土砂流出を防ぐため、現状では多くの土砂が堆積していますので、富岡土木事務所へ土砂をさら

①伐採はいつまで行われるのか。
②伐採後の植林の予定は。
③現存している砂防堰堤(上水道用)の上方の管理は。
④以前からお願している堂の入口上方の生活道路の補修は。

③県で管理する施設です。下流への土砂流出を防ぐため、現状では多くの土砂が堆積していますので、富岡土木事務所へ土砂をさら



これから予測される水不足について

堀口 博 議員

■議員 新屋地区は町の玄関口となるのにふさわしい地区になりつつありますが、住宅・人口の増加にともない、今後、生活用水および、工業用水不足が一番の悩みの種です。委員会研修での説明では甘楽第一産業団地への水の供給量を50t/日を想定していると説明がありました。現在、取り先、企業を受け入れるためには3倍、4倍の水源確保が必要と想定されます。そこで、天引・金井地区の生活を潤してきた堂ノ入の浄水場設備を修繕し、稼働させたかどうか。町のお考えをお聞かせください。

■町長 天引川・堂ノ入川を水源とする旧天引浄水場は、老朽化により浄水場に統合されました。この2水源の年間平均水量は、近年の異常気象等により減少傾向にあり、日量約300トンで、濁水等では更に減少するところもあります。現在、取水したすべてを白倉浄水場に送り、福島・新屋地区に供給しています。安定した水源水量が確保できないことから、修繕・新設は不可能です。工場等の用

水確保は、白倉浄水場の大規模改修等により、水道施設の機能強化及び維持管理を促進し、町全体の水道用水の確保に努めていきます。

工場等の用





地区防災心得の作成および 防災士について

黒澤 篤 議員

■議員 平成以降色々な災害が、いつどこで起きるかわからない時代になってきました。町では防災計画もあり、町民カレンダーに避難所等の情報も掲載し、地域防災知識等の普及に努めています。昨年9月議会での各区や組毎による防災対策の話し合いが実施されており、再度質問します。

①地域防災心得の作成について、災害が起こった際に素早く命を守る行動がとれる様に、地区で話し合いを持つべきです。その上で避難等の心得を作成してほしい。②防災士について、町職員・町内の防災士の資格取得者の人数と今後の資格取得の推進はどうか。

■町長 ①秋畑の一部の地区では防災住民懇談会の実施により、「自主避難計画」が策定されています。各地区でも防災対策（避難場所、避難方法等）についての話し合いや、地区内の企業も含めた情報共有により、地域防災心得ができれば被害を最小限に防ぐことができるかと考えます。

②NPO日本防災士機構の認証する防災士資格を持ち、「ぐんま地域防災アドバイザー」に登録している方は町内で1名いらっしゃいます。資格取得の推進については、

進については、今後の行政区の役員や消防団員、企業等へ周知案内したいと考えています。



ふるさと納税の活用について

横尾 稔 議員

■議員 ふるさと納税は、自分の出身地域や応援したい自治体に何回でも（上限内）できる納税制度です。背景には、所得税や住民税が軽減されたうえ「お礼の品」が貰える特典もあることです。

本年6月より新ふるさと納税として「返礼品は地場産品」「調達費は寄付額の30%以下」と決められ、守らなければ税優遇が受けられない自治体が出てくる状況となりました。

①町では、この制度をどのようにとらえているのでしょうか。

②2018年の寄附額と件数は？

③寄附された方へのメッセージは、どうお考えですか。

■町長 ①町を応援してくれる声と受け止め、使途に合わせて町づくりのために有効活用したいと考えています。

②寄附件数643件、寄付額3,762万円でした。

③税優遇措置はもちろん、総務省の返礼品基準に沿った甘楽町らしいお礼の品を用意しています。

今後も魅力あるお礼の品を発掘し、品数を増やしながら、町の魅力をアピールし、制度を継続したいと考えています。



フィルムコミッション事業について

横尾 稔 議員

■議員 観光立国推進基本法により、映画・テレビドラマ等の作品を通じて、観光誘客など、地域活性化につながるとして、撮影支援

■町長 ①非営利が原則となる撮影支援について、役場関連部署で可能な限り対応しており、楽山園等での撮影実績があります。

組織「フィルムコミッション」が全国に設立され、県においても、高崎、安中など10ヶ所の関連団体があり、連携を図っています。

②町内2か所の宿泊定員、客室数は、甘楽ふると館(83名、18室。甘楽亭(6名まで、1棟貸し)となっています。

④インバウンド対応については、関係機関等からの意見聴取とともに、実施方法や内容について、費用対効果も考慮しながら、協議・検討したいと考えています。

来年は東京五輪や大型観光企画が予定され、「誘客競走」は激化しています。

③撮影相談の初期段階

- ①町もメディア型観光を取り入れてはどうか。
- ②ロケ隊受け入れの為、宿泊可能人数、室数は。
- ③最終目的地先に選ばれるための振興策は。
- ④訪日外国人客の受け入れ体制は。



災害時の避難所運営について

山田 邦彦 議員

■議員 町がいつ「被災地」になるかわかりません。日本の避難所の形は90年前と同じ考えで、体育館などで「雑魚寝」を基本にしています。：外国では、キッチンと家族ごとなどに区切り、ベッドを準備し行っています。

■町長 ①②プライバシー確保や性別への配慮等において、安全。安心面から必要であると理解しています。

害時の応援協定を締結しているため、協定に基づき貸出し・供給を実施していきます。

日本ではせつかく避難したのに、避難所での災害関連死になる割合が多い。そうならないように、

物資の計画的な購入も含め、備蓄しておく取納場所の問題があるため、製造業者と防災協定の締結により有事の供給体制を整える等有効な方法を検討します。

- ①避難所で使えるベッドを準備する。
- ②屋内外で使えるテント、ついたてを準備する。
- ③避難所運営ゲームでトレーニングし「その時」に備える。危機管理産業展に参加してはどうか。
- ④①③は他市町村に貸し出しや提供をしては。

- ③HUGゲームはプレイするにあたり、指導者をおくことが有効のようです。体験会への参加は業務状況を確認して検討します。
- ④他市町村への貸し出しは、災



自動車がなくても快適な生活を他

山田 邦彦 議員

平和行政・平和教育の二層の推進を

山田 邦彦 議員

■議員 高齢者になって「出来る」が少なくなり、出来ないことが増える」のは避けることが出来ません。目も、耳も、手、足、内臓：

■町長 ①シニアカーは、歩行機能の低下や交通事故増加の懸念等課題があり、事業実施には慎重な研究が必要と考えます。

②タクシー券の発行には多額の費用が必要であり、補助の範囲やその根拠をどうするべきか検討が必要ですので、「愛のりくん」の活用を第一に進めたいと考えています。

■議員 核兵器禁止条約に26カ国が批准しました。日本政府は条約を作るための会議にさえ参加しませんでした。町議会は、「日本政府に

■町長 ①教育委員会と相談・検討します。姉妹都市への寄贈は国々の事情がありますので、慎重に判断します。

へ協力します。各校で児童の発達段階に応じた地域の戦争体験者や関係資料等を活用した平和学習等を支援していきます。

脳すべて例外がないように思います。具体的には運転が出来なくなります。毎日のように「踏み間違い」などによる事故が報道されています。そこで

①高齢者（とくに免許証返納者を中心）に、いわゆる「シニアカー」購入の補助を実施する。

②タクシー券の発行には多額の費用が必要であり、補助の範囲やその根拠をどうするべきか検討が必要ですので、「愛のりくん」の活用を第一と考えています。

②「非核宣言の町」のモニュメントを国道や県道、学校を含む公共施設の目立つ所に設置。

②デザインや設置場所、費用等について検討が必要であり、現時点では考えていません。

③来年以降、実施を検討します。

③耳が聞こえないことで命の危険もある。補聴器が高価です。購入補助を行ってどうか。

③難聴等による身体障害者手帳の交付対象とならない方は相当数いるとみられています。事業の実施には、耳以外に目等についても加齢による衰退があり、補助の在り方や対象者の把握、必要予算等について調査・研究が必要と考えています。

③以前夏祭りの団扇に宣言を印刷することを提案した。その後は、

④夏休みは国際交流で中学生を派遣しているため、難しいと考えます。

■教育長 学校にかかわる部分について、

①各学校と協議・検討します。



④原水爆禁止世界大会や平和記念式典に参加しては。(メッセージも可)

②学校からの派遣は困難ですが、派遣先団





小学校のプールについて

中野喜久勇 議員

■議員 夏といえば、

子どもたちはプールを大変楽しみにしていましたが、小幡小学校のプールは漏水により使用できないということで、水泳選手は福島小学校のプールを借りて練習をしたそうですが、福島小学校のプールでも受け入れ人数の限度があり、小幡小学校の一般の子どもたちは利用できないということでした。

①今年はずでにプール利用は終了してしまいましたが、来年からのプールの運営方法について質問します。
②また、現在の小幡小学校のプールと同程度のプールを新設した場合、費用はいくらかかるか参考になります。

■教育長

①6月下旬、

小幡小のプールで漏水がありました。復旧には時間を要します。また、各校のプールも経年劣化による修繕を繰り返して使用していることから、民間活力導入による水泳授業を検討していた

ところもあり、プール使用を中止しました。来年度は、各校ともに民間活力導入を考えています。天候に左右されない授業実施や、熱中症のリスク回避、修繕費等のコスト削減が図れるメリットがあるため

と中止しました。来年度は、各校ともに民間活力導入を



秋畑、那須簡水の有収率に関して

山崎 澄子 議員

■議員

上水、国峰簡水は90%近い有収率ですが、秋畑、那須簡水は低く、秋畑簡水に関しては40%代で推移しています。

この2簡水の有収率が低い原因は漏水によるものと考えられます。漏水であれば、水道管は道路の下の埋設区間も長く、がけ崩れや道路の崩壊の誘発が考えられます。秋畑地区は生活道路に急坂が多く、乗り物使用の事故も心配されます。

また、漏水による被害額は年間どの位か。町民の命を預かる水です。被害額をなくす事はもとより、有収率の改善が急がれると思います。

■町長

これらの簡水は、集落間を配管しており、非常に条件の良くない急勾配や山間部への配管もしており、水道水の圧力調整等を行いながら、各家庭へ給水しています。

漏水によるがけ崩れ等の被害は発生していませんが、老朽化等による漏水損失額は、616万7千円ほどです。

漏水の調査・修繕、設備更新等を繰り返し実施してきましたが、繰り返し漏水等により、年間有収率は改善しない状況です。

今年度以降は新しい漏水探知技術を用いた調査や配水管の更新等により、計画的に漏水改善を進め、有収率の向上を図ります。



議会活動報告

甘楽分署の進捗は？白倉浄水場、最終処分場の現状は？

総務文教・社会産業両常任委員会合同視察を実施

9月12日(木)

総務文教常任委員会と社会産業常任委員会合同による町内現地視察を実施しました。

✓甘楽分署 (大字小川)

旧第一中学校跡地に建設中の富岡消防署甘楽分署の進捗状況を視察しました。建物の形がわかるくらいまで骨組みが出来上がっていました。



✓上水道浄水場 (大字白倉)

浄水場では、浄水技術や処理過程について、実際の設備を前に水道課職員から説明を受けました。議員からも、水道の供給量や浄水場大規模改修、自家発電設備等について様々な質問が出ていました。



✓一般廃棄物最終処分場 (大字白倉)

埋立処分場や各処理施設を視察し、住民課職員から町のごみ処理方法についての詳細や埋立場の埋立率や残余容量等について説明を受けました。

より開かれた議会づくりを目指して！

「議会改革推進委員会」が発足しました

「議会の傍聴にきたいけれど昼間だとなかなか時間が取れない」といった町民の方からの声に対応していきたいと考え、甘楽町議会では、本会議の運営方法や町民の皆さんに甘楽町議会に興味を持っていただける体制づくりのため、議会改革推進委員会を立ち上げました。

委員は、発起人の吉田恭介議員を委員長に、副委員長・黒澤篤議員、山田光男議員、横尾稔議員、金田倍視議員、山崎澄子議員の6名で構成し、山田邦彦議員が顧問に決定しました。

今後は、町民の皆さんに積極的に参加してもらえる議会づくりを議員たち自らで作るため、委員会で議会の現状や課題、今後の取り組み方法等について協議・検討していく予定です。

日程（主な活動記録）

7月	8月	9月	10月
16日	2日	1日	1日
キラッとかんら安心のまち創生会議	富岡地域医療企業団議会議員意見交換会	町民体育大会総合開会式	産業文化祭運営委員会
郡土地開発公社甘楽町支所 評議委員会	7日	2日	6日
17日	7日	3日	8日
上信電鉄沿線市町村連絡協議会総会	バイオマス発電所視察（東吾妻）	ニカラグアを知る講演会	消防団秋季検閲式
介護保険運営協議会	9日	7日	8日
第2回臨時会	第9次ハルビン市訪問中学生国際交流研修団壮行会	県道路協会富岡支部通常総会	9日
18日	14日	9日	10日
全員協議会	民生委員推薦会	県総合防災訓練	10日
19日	15日	9日	10日
富岡・甘楽国際コミュニティ 連絡会	富岡神流線整備促進期成同盟会 通常総会	第3回定例会	10日
23日	16日	10日	10日
町の青少年を守る母の日大会	甘楽夏祭り・花火大会	敬老会	11日
28日	17日	10日	
親と子の木工広場	甘楽富岡林業振興協会総会	福祉パレード	
29日	20日	17日	
国道254号線整備促進期成同盟会 会計監査	第3回臨時会	17日	
31日	26日	18日	
議友会総会	国道254号線整備促進期成同盟会 通常総会	18日	
	27日	23日	
	県後期高齢者医療広域連合議会	古着リサイクル回収 議会広報常任委員会	
		26日	
		議会議事録	
		27日	
		議事録	
		28日	
		議事録	
		29日	
		議事録	
		30日	
		議事録	
		31日	
		議事録	

毎月開催
 ・小口融資審査委員会
 ・例月出納検査

全員協議会報告

議員協議会

○第2回臨時会について他14件

全員協議会

- 令和元年第2回臨時会提出議案等の説明及び質疑他15件
- 議員質問事項
「地域おこし協力隊活動及び採用について」

7月18日
(木)

議員協議会

○第3回臨時会について他14件

全員協議会

- 令和元年第3回臨時会提出議案等の説明及び質疑他25件
- 議員質問事項
「町内のごみ防止（抑止）看板の点検・清掃・更新について」

8月20日
(火)

議員協議会

○小口融資審査委員会報告他10件

全員協議会

○秋の全国交通安全運動の実施について他13件

9月13日
(金)

議会を傍聴して

区長代理（60代・男性）



9月定例会最終日に初めて傍聴させていただきました。年4回の定例会終了後の翌月に議会だよりにて議会活動等が報告されていますが、各定例会最終日には議員より一般質問がされ、今回は7人（13件）からの一般質問があり、執行者（町長・教育長・課長）の答弁のやり取り（議会だよりでは掲載されない部分）が傍聴出来ました。議会でも大勢の皆様が傍聴いただきたいとの事ですので、是非傍聴してみたいかがでしょうか。議員の普段とは違った一面が見られるかもしれません。今回は21人の傍聴と盛況でした。



「今後はどうなる? その2」

町議会の人口減少対策研究会では、平成31年3月に「人口減少対策に対する再提言書」を町長へ提出しました。

再提言に対して、4月に示された町の今後の方針についてご報告します。
 (「今後はどうなる? その1」は、議会だより178号をご覧ください)

項目	再提言項目	町の今後の方針
健康づくり	福祉医療対象者を身体障害者手帳3級該当者までとする。	県では重度心身障害者の入院時食事療養費を福祉医療から除外し、対象範囲を縮小している状況です。3級該当者は55名(4月現在)いる状況ですが、県下の状況を見極め検討して行きたい。
	買い物ボランティア等で、高齢者世帯等からの要請に基づき自宅への配達を行うとともに、安否確認等を行ってもらえるような団体への支援をする。	活動に対し、社会福祉協議会とも連携し、システムづくりや燃料費補助等の支援を実施できるよう取り組みたい。
農業	JAや商工会等との新ブランド商品の掘り起こしに対する研究会の開催や、かんらブランド商品の町外における物販等のイベントへの出店者に対する積極的な情報提供等の協力を行う。	新たに認定されたKANRAブランド商品については、道の駅甘楽に展示コーナーを設け差別化を図る。 また、物販等のイベントの情報提供や優先的な活用を図る。今後も新ブランド商品を増やしていくため、JAや商工会等と連携し取り組んでいく。
	JA等と協力し、新規就農者が取り組み易い作物や加工品の掘り起こしを研究する。 	甘楽富岡地区の市町村・県(農業指導センター)・農協が一体となって、新規就農者の受入・支援体制の整備を行い、県・市町村ホームページに掲載し周知・PRをしていく。
商工業	新農産物の開発を推進する。	JA・県(農業指導センター)と連携し、調査・研究をしていく。
	かんらブランド商品の町外における物販イベントへの出店者に対する積極的な情報提供等の協力を行う。	KANRAブランド商品について、物販等のイベントの情報提供や優先的な活用を図っていくとともに、ふるさと納税の返礼品としても活用していく。
	商工業のPRのための総合ガイドブックを作成するにあたり、商工会が主体となり町の支援により作成し、町内外に配布する。	総合ガイドブックの作成を商工会に働きかけ、あわせて支援について検討する。
教育	小中学校の全学年の30人学級制に積極的に取り組んでいく。	群馬県の独自制度である少人数クラスプロジェクトについて、3年生以上も30人学級となるよう、今後も引き続き県へ要望していく。
	学校給食費の第2子以降に対する補助金支給や無料化を行う。	学校給食費は材料費分として負担いただいている。消費税分を増額せず、現状の徴収金額を維持できるように努めたい。
	地産食品をより多く使用して、安全安心の給食の充実を図る。	旬の地元食材種類の利用増加を図るとともに、納入希望者を広く募集し、安心安全な給食提供に努めます。
子育て支援	新保育園児・新幼稚園児・新小学生・新中学生への入園(学)時における経費への助成を行う。	(学校教育課) 就学援助費支給要綱に基づき、入学準備金を入学前に支給する等、就学に必要な援助を行いたい。 (健康課) 入学祝金の支給を検討して行きたい。 
	共働きやひとり親世帯に対する支援のため「認定こども園」の早期開設を行う。	3つの幼稚園を統合した施設を、新たに旧第一中学校跡地に早期建設できるよう努める。
	町内在住男性で保育士資格取得希望者に対する助成を行う。	保育士は男女を問わず公募しているが、男性保育士資格所得者は少数であり、応募が少ないのが現状である。保育士は性別を問わない職種であるので、男性だけを優遇する助成は考えていない。
	育児休暇中(含む、0歳児)でも保育サービスを受けられるようにする。	当面は産後ケア事業やにこにこキッズかんら事業の充実を進めて、育児休暇中の子育てを支援して行きたい。

かんらの
四季を彩る

風景6

甘楽町発足60周年記念事業 「田んぼアート」

■所在地 甘楽町大字福島地内

町発足60周年を記念して実施された「田んぼアート」。ご覧になっていただけましたか？

甘楽町福島 of 福島跨線橋西側の田んぼで実施された本事業は、6月30日の田植え体験からスタートしました。大勢の皆さんに丁寧に植えていただいた苗は、猛暑や台風を力強く乗り越え、9月、写真のように豊かに実ってくれました。

田んぼアートには、緑、黒、ピンクの各3色に色づく苗を使用しており、10月20日予定の稲刈りまでには、かんらちゃんのトレードマークでもある桜やほっぺが可愛いピンク色に色づきます。



福島跨線橋より撮影

編集後記

9月に上陸した台風15号は、記録的な風で千葉県の多くの地域で家が壊され、長引く停電が生活、産業に深刻な被害をもたらしました。ここ数年の自然災害はこの地域にも起こりえることです。さらに防災意識を高め、どの様な準備が必要かを改めて考える機会となりました。

そんな中、成田空港で足止めになり、急遽甘楽町が受け入れたU18ニカラグア代表野球チームの皆さんが、甘楽中などで交流が持てたことは、オリンピックのホストタウンとしての意識を高め、身近に国際交流を感じたことでしょう。

私たち議会もより良い甘楽町のために各方面から協力していきたいと思っております。

山田 光男 記

町議会では、9月の台風15号により被災された方々を支援するため、千葉県町村議会議長会へ義援金を送りました。

表紙の説明

9月28日、町内の各小学校で、運動会のプログラムの一環として、町発足60周年を記念した「パルインリリース」が盛大に行われました。広い空へ向かって一斉に放たれた色とりどりの風船には、子どもたちの夢が書かれたメッセージカードが付けられています。子どもたちがこれからも甘楽町で輝いていける町づくりのために、議会もより一層励んでいきたいと思っております。

議会広報常任委員会

発行責任者 富岡 朝男
議長 富岡 朝男

委員長	山田 邦彦
副委員長	山田 光男
委員	横尾 稔
	金田 倍視
	黒澤 篤
	山崎 澄子

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。